

スカベンジャー・ハント × ジグソー法 = 新任教育職員研修会?



新任教育職員研修会の概要



福岡大学
教育開発支援機構

第1回研修会

平成26年度より年3回のプログラムを実施しています。

- 第1回：役職者らによる講話と学内見学（4月）
- 第2回：コース・デザインを考える（8～9月）
- 第3回：成績評価の方法を検討する（3月予定）

「新任教育職員が本学の構成員としての実感を得ること、及び、本学に関する必要最低限の情報を入手することにより、着任後の業務を円滑に遂行できるようになるよう支援することを目的とする。」

プログラム

- <午前の部>
- ・役職者講話（学長、副学長、事務局長）
 - ・各部署長からの説明（教務部長、学生部長、就職・進路支援センター長、総合情報処理センター長）
- <午後の部>
- ・学内見学（グループディスカッション含む）
 - ・各部署からの説明 テーマ：「福大生の現状と課題」（教務部、学生部、就職・進路支援センター）
 - ・今後の研修会などに関する説明
 - ・懇親会

大規模大学としての本学の特徴を理解して欲しい!!



学内見学の概要

参加者
64名
(教育職員40名
事務職員24名)

1. 「福大クイズ（部署編）」の答えを探しながら、グループで学内を散策！（スカベンジャー・ハント）

2. 各部署の説明資料を、学内で収集！

3. 入手した資料を基に、「福大クイズ（総合編）」の解答についてディスカッション！（ジグソー法）



スカベンジャー・ハントとは？

出された課題に答えを探しながら、一定の場所を散策する活動。アメリカでは、大学入学希望者に対するキャンパスオリエンテーションなどで用いられる。日本では、図書館の利用者講習の際に用いられることもある。

ジグソー法とは？

ある共通したテーマに関して複数のメンバーが異なる情報を持ち、各々の情報やそれに対する個人の理解を交換しつつ、それらを統合することによって、テーマについての理解を深めていくという協調学習の方法。

6. 大成功！お疲れさまでした♪

5. 「福大博士賞」と「コロンブスの卵賞」の選考・投票と表彰！

4. 「福大クイズ（総合編）」の解答を全体で共有！



参加者の声

どのような組織があり、それぞれがどのようなサポートをしているかが理解でき、今後困ったときなどアクセス先が分かりました。

グループワークに教員、職員の双方が入っていたのが良かったと思います。ジグソーでやった課題はもう少し時間をとって、ケースを4つではなく2つくらいがゆっくり議論ができてよかったのではないかと思います。

これまで一度も足を踏み入れたことのない場所で目的のものをチーム全員で探すこの企画は、かなり新鮮な体験で、子どもの頃の「宝探し」を思い起こさせる楽しい企画であった（果たして何年ぶりだろうか？）。（中略）欲をいえば、「宝」の発見はもう少し難しいほうがより楽しみと達成感が増すような気がする。今後の難易度アップに期待したい。

多くの方々のお話を聞くことも重要であると思いますが、やはり自分達で考えるグループワークやディスカッションがもっとしたいです。